

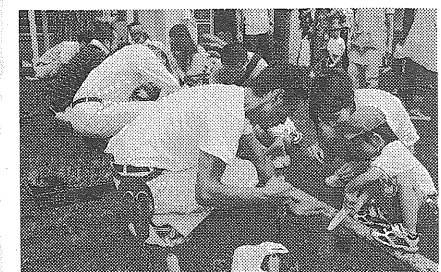
は、火災や事故、耐震性向上、公共工事のIT化

川島空調衛生工業会とそれぞれ販売する。

が、市側が意思決定に多くの時間を費やすことで、工事の進捗が遅れるケースがある。こうした事態を回避するため、受注者から協議や確認、報告などが合った場合、市は速やかに回答できるように行動する。翌日に回答が困難な場合は、回答期日を知らせ、工事の段取りに支障がでないようにする。

対象は建築局発注のすべての工事。発注済みの工事にも適用する。「ワンデーレスポンス工事関係質疑・回答書」は、公共建築部ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/archi/syori/>) に掲載。

(岸本和好会長)は7月22日、横浜市のお三の宮日枝幼稚園の園庭を芝生化するため、園児や保護者と一緒に芝のポット苗を植え付けた。写真。協会の指導の下、園児と保護者らがスコップで穴を掘り、ティフトン芝のポット苗約3500苗を縦横20センチ間隔で均等



庭の芝生化について県民の理解を得ることを目的に開始。園庭芝生化の効果として、けがの防止や目の疲れの減少、砂・ちりの飛散、表土の流出防止、雨水の浸透性向上、照り返しや音の反射抑制などを提唱している。

感謝の集いに116人参加

河本総合防災

河本総合防災(相模原市中央区、河本俊二社長)は7月23日、相模原市内で感謝の集いを開き、自社や関連会社、取引先の社員ら116人が参加した。

河本社長は「写真」は、「東日本大震災は、われわれの防災に対する認識をもっと知ってほしい。それを改めるウエークアップとえ困難なことがあっても負けない。一人一人の頑張りが解決に結び付くことになる」と一日も早い復興に向けた支援を訴えた。



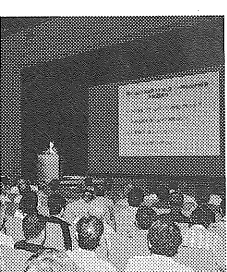
講演会では、東日本大震災で被災地となった福島県白河市役所の川瀬光子スポート振興係長を講師に震災被害の実情を紹介。川瀬氏は自身の子どもと同世代の子どもたち

を継続する方針だ。

震災フォーラムに約200人参加

浜管ネット

横濱マンション管理組合ネットワーク(浜管ネット)



廣田氏は、自宅のある千葉県浦安市のマンションで震災後に理事会と自治会協働の緊急対策本部を立ち上げ、緊急遮断弁を確保した

を継続する方針だ。

術部会」を立ち上げた。弾として7月には市内10カ所の基準点をポイントアで測地。測地成果を藤沢市の海老根靖典市長に報告した。また、8月2日には藤沢市の道路管理課職員に対して、測量業務の講習会を開く予定だ。普段はアクティブな会長の趣味は自ら絵筆を持つこと。「動」と「静」を使い分け、会員19社をリードする。湘南ウィステリア代表取締役。藤沢市内在住。53歳。(相模支局「営業」を語る。原紀之)